

平成 28 年度

一般廃棄物処理の現況

(平成 30 年 2 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	3
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	5
(2) 各地区の状況.....	6
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	10
(2) 各地区の状況.....	11
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	24
(2) 各地区の状況.....	25
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	29
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	34
(2) し尿処理の状況.....	35
(3) し尿処理施設.....	36
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	37
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	41
7-3 委託・許可件数.....	41
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	41
8. ダイオキシン類対策等の状況.....	42

Ⅱ 資料編

1. ごみ処理の概況	
(1) ごみ処理フロー（平成 28 年度実績）	43
(2) ごみ処理の状況（市町村別）	44
(3) 1 人 1 日当たり総排出量別・リサイクル率別市町村一覧（平成 28 年度）	46
(4) ごみの収集体制・分別状況（生活系）	46
(5) 保管施設整備状況	47
(6) 平成 28 年度資源回収状況	48
(7) ごみ処理施設整備状況	50
(8) 不燃物処理施設整備状況（粗大ごみ処理施設含む）	52
(9) 埋立処分地施設整備状況	54
(10) 焼却施設（溶融施設・ごみ燃料化施設含む）整備状況図 （平成 29 年 3 月 31 日現在）	57
2. し尿処理の概況	
(1) し尿処理フロー（平成 28 年度実績）	58
(2) 衛生処理人口	59
(3) し尿処理の状況（市町村別）	61
(4) し尿処理施設整備状況	63
(5) コミュニティ・プラント施設整備状況	65
(6) し尿処理施設整備状況図（平成 29 年 3 月 31 日現在）	66
3. 廃棄物処理事業の概要	
(1) 廃棄物処理事業従事職員	67
(2) 委託・許可件数	68
(3) 一般廃棄物処理事業者等関係整備状況	69
(4) 廃棄物事業経費（市町村別）	70
(5) 廃棄物事業経費（事務組合別）	72
4. 浄化槽整備状況	
(1) 年度別浄化槽設置状況	74
(2) 市町村別・規模別浄化槽設置状況（平成 28 年度末）	75
(3) 浄化槽設置整備事業実績（個人設置型・平成 28 年度末）	76
(4) 市町村設置型浄化槽整備実績（平成 28 年度末）	77
(5) 浄化槽法定検査（法第 11 条）実施状況	78
5. 参 考 資 料	
島根県における一般廃棄物処理体制	79
廃棄物処理関係一部事務組合一覧表	80
島根県の廃棄物行政機関	82

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1～3 に示す。

平成 28 年度における県内のごみ総排出量は 240,040t(うち、生活系 166,395t、事業系 73,645t)であり、前年に比べ約 1.8%の減少となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは、平成 24 年度から減少傾向だが、事業系ごみは、平成 26 年度をピークに減少している。

計画収集人口は 696,745 人(外国人含む)で総人口の 99.98%である。1 人 1 日当たりごみ排出量は 944g、生活系ごみの 1 人 1 日当たりごみ排出量は 654g である。

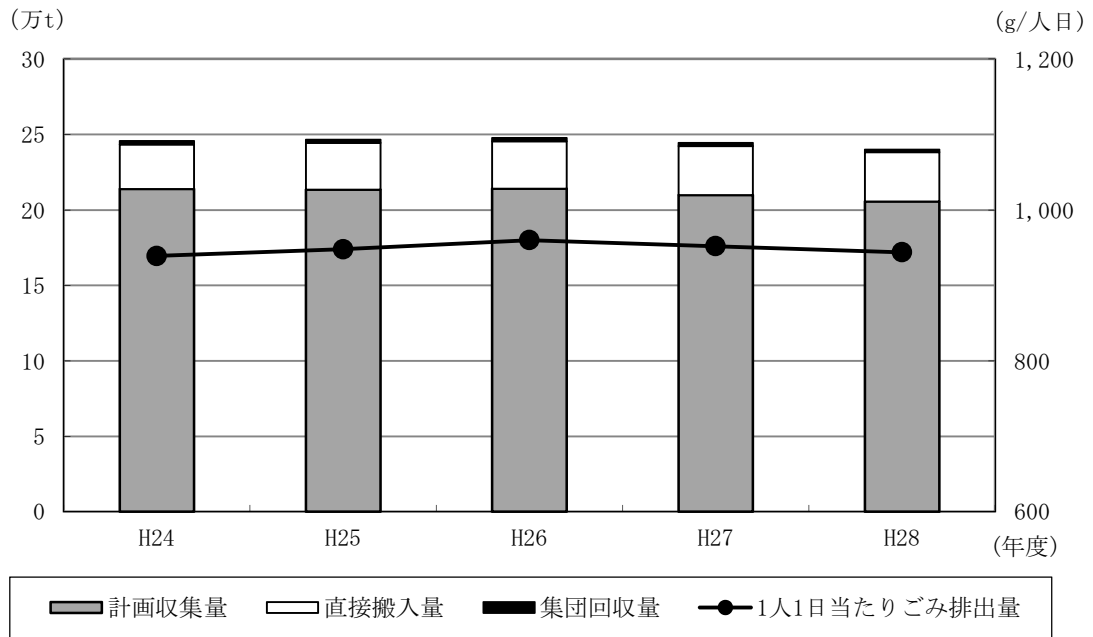
ごみ総排出量及び 1 人 1 日当たりごみ排出量ともに平成 28 年度は前年度より減少している。

表 1-1 ごみ排出量と処理の推移 (単位：t/年)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
総人口(人)	717,289	712,345	706,612	701,871	696,915	
計画収集人口	717,068	712,168	706,437	701,699	696,745	
自家処理人口	221	177	175	172	170	
計画収集率(%)	99.97	99.98	99.98	99.98	99.98	
ごみ総排出量	計画収集量	213,886	213,395	214,039	209,783	205,734
	直接搬入量	29,565	31,089	31,555	32,651	32,514
	集団回収量	2,304	2,063	2,124	2,040	1,792
	合計	245,755	246,547	247,718	244,474	240,040
	生活系ごみ	173,887	173,143	171,762	169,862	166,395
事業系ごみ	71,868	73,404	75,956	74,612	73,645	
ごみ総処理量	243,059	244,343	245,046	241,843	238,073	
直接焼却	173,058	176,811	178,367	178,612	177,005	
焼却以外	65,432	62,930	61,608	58,416	55,446	
直接埋立	4,569	4,602	5,071	4,815	5,622	
1人1日当たりごみ排出量(g)	939	948	960	952	944	
1人1日当たり生活系ごみ排出量(g)	664	666	666	661	654	
災害廃棄物	-	716	-	-	-	

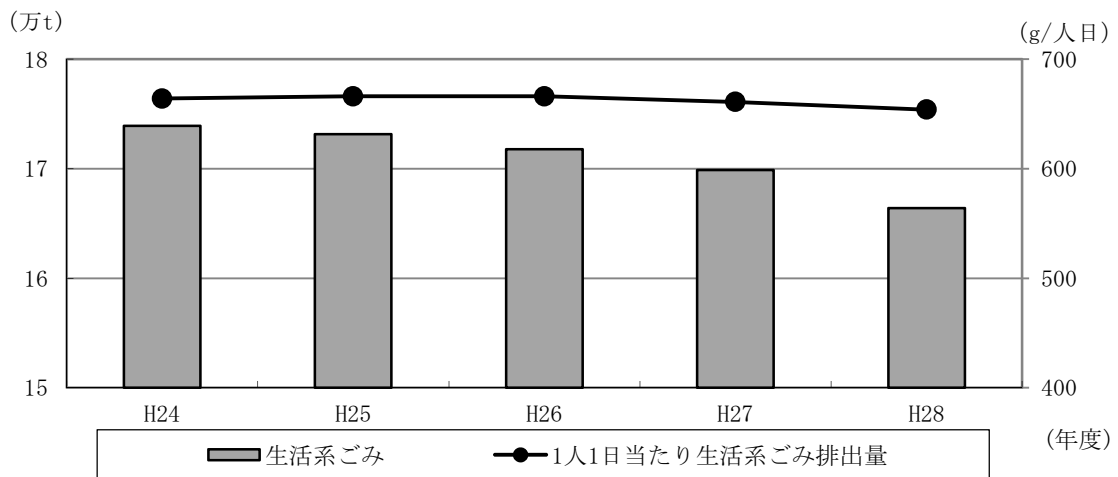
注) 1. 総人口には外国人を含んだ人口

2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = ごみ総排出量/総人口/365日 (366日) × 10⁶

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量/総人口/365日 (366日) × 10⁶

図1-2 生活系ごみの排出量の推移

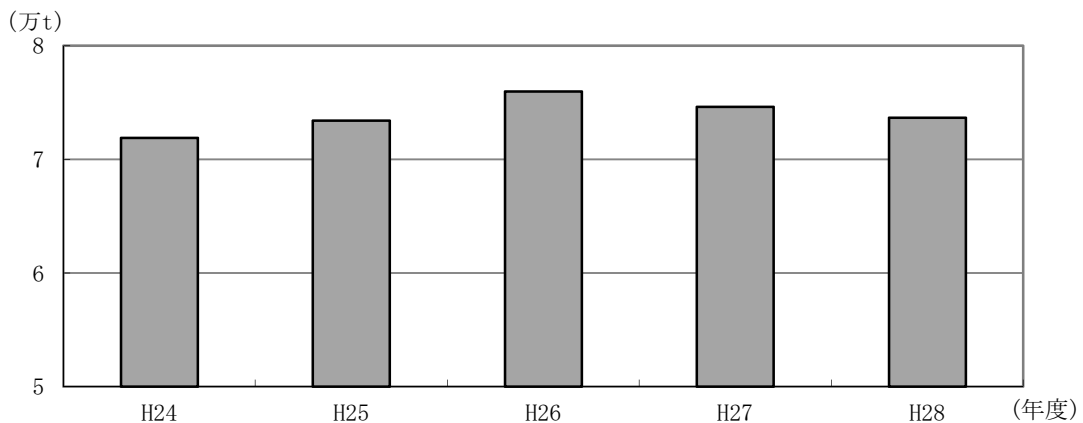


図1-3 事業系ごみの排出量の推移

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 88,848t(うち、生活系 59,942t、事業系 28,906t)、処理量合計は 88,848t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 995g と県平均の 944g を上回っている。

<出雲地区>

①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 76,731t(うち、生活系 51,212t、事業系 25,519t)、処理量合計は 75,426t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 901g と県平均の 944g を下回っている。

<浜田地区>

①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 63,890t(うち、生活系 46,610t、事業系 17,280t)、処理量合計は 63,228t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 882g と県平均の 944g を下回っている。

< 隠岐地区 >

① 隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

② 海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③ 西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④ 知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,571t (うち、生活系 8,631t、事業系 1,940t)、処理量合計は 10,571t であり、1人1日当たりごみ排出量は 1,407g と県平均の 944g を大きく上回っている。

表1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳 (単位：t/年)

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	244,525	233,245	198,567	20,578
計画収集人口	244,525	233,245	198,397	20,578
自家処理人口	0	0	170	0
ごみ総排出量				
計画収集量	80,464	67,091	54,154	4,025
直接搬入量	8,384	8,149	9,435	6,546
集団回収量	0	1,491	301	0
合計	88,848	76,731	63,890	10,571
生活系ごみ	59,942	51,212	46,610	8,631
事業系ごみ	28,906	25,519	17,280	1,940
ごみ総処理量	88,848	75,426	63,228	10,571
直接焼却	68,099	52,950	47,551	8,405
焼却以外	19,906	18,443	15,326	1,771
直接埋立	843	4,033	351	395
1人1日当たりごみ排出量 (g)	995	901	882	1,407

注) 総人口は外国人を含んだ人口

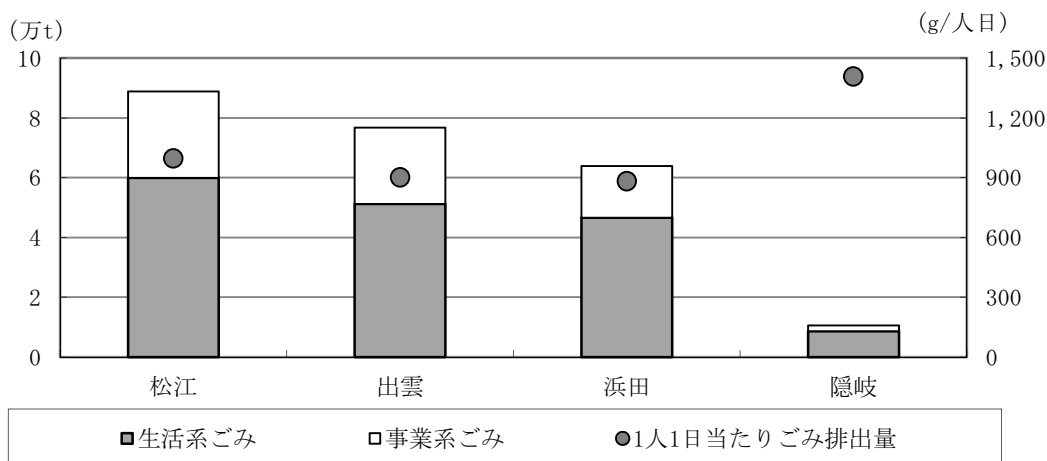


図1-4 ブロック別ごみ排出量

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

平成28年度に市町村から排出されたごみ量は240,040tであり、収集内訳は、可燃ごみ77.5%、不燃ごみ5.9%、資源ごみ16.0%、粗大ごみ0.6%、その他は0.1%未満であった。

処理内訳では、177,005t(74.3%)は直接焼却され、55,446t(23.3%)は破碎・圧縮等の焼却以外の中間処理、残りの5,622t(2.4%)は直接埋立とされている。

県全体で52,400tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると54,192tが資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

県全体		平成28年度	
計画収集量		205,734	
収集内訳	可燃ごみ	159,445	
	不燃ごみ	12,137	
	資源ごみ	32,966	
	その他	20	
	粗大ごみ	1,166	
直接搬入量		32,514	
集団回収量		1,792	
総排出量		240,040	
自家処理量		219	
処理内訳	中間	直接焼却	177,005
		焼却以外	55,446
	最終処分	直接埋立	5,622
		焼却残渣	10,097
		破碎圧縮残渣	5,776
	資源化		52,400
処理合計		238,073	
リサイクル率 (%)		22.6	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		944	

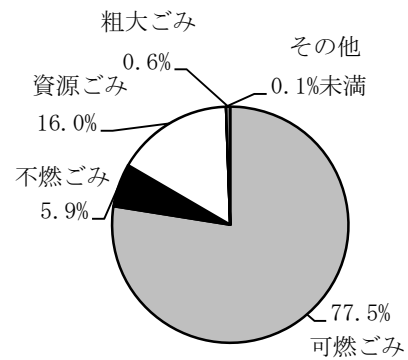


図2-1 ごみの収集内訳

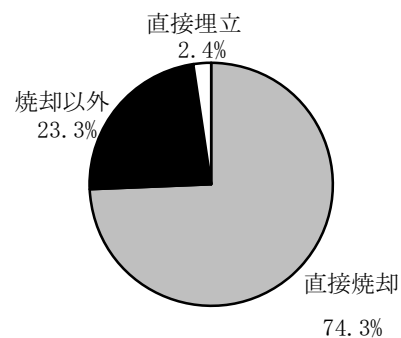


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-2、ごみの収集内訳を図2-3、ごみの処理内訳を図2-4に示す。

平成28年度に当地区内から排出されたごみ量は88,848tであり、収集内訳は、可燃ごみ74.3%、不燃ごみ2.7%、資源ごみ22.2%、粗大ごみ0.8%であった。

処理内訳では、68,099t(76.6%)が直接焼却され、19,906t(22.4%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの843t(0.9%)は直接埋立とされている。

当地区全体で24,827tがごみから分別・資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

松江地区		平成28年度	
計画収集量		80,464	
収集内訳	可燃ごみ	59,787	
	不燃ごみ	2,195	
	資源ごみ	17,875	
	その他	0	
	粗大ごみ	607	
直接搬入量		8,384	
集団回収量		0	
総排出量		88,848	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	68,099
		焼却以外	19,906
	最終処分	直接埋立	843
		焼却残渣	1,659
		破碎圧縮残渣	62
	資源化		24,827
処理合計		88,848	
リサイクル率 (%)		27.9	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		995	

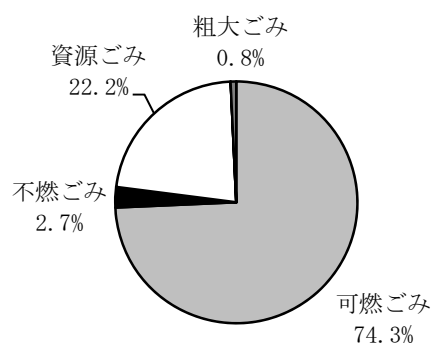
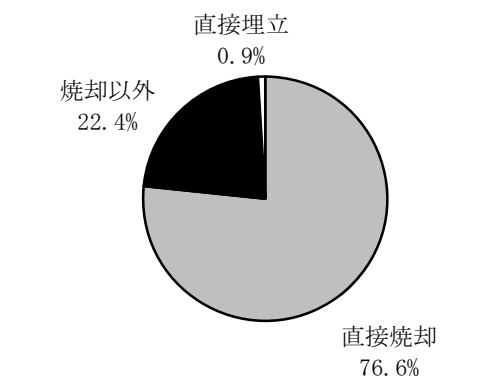


図2-3 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

平成28年度に当地区内から排出されたごみ量は76,731tであり、収集内訳は、可燃ごみ81.0%、不燃ごみ10.8%、資源ごみ8.1%、粗大ごみ0.1%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、52,950t(70.2%)が直接焼却され、18,443t(24.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り4,033t(5.3%)は直接埋立とされている。

当地区全体で12,645tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると14,136tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

出雲地区		平成28年度	
計画収集量		67,091	
収集内訳	可燃ごみ	54,374	
	不燃ごみ	7,239	
	資源ごみ	5,415	
	その他	16	
	粗大ごみ	47	
直接搬入量		8,149	
集団回収量		1,491	
総排出量		76,731	
自家処理量		11	
処理内訳	中間	直接焼却	52,950
		焼却以外	18,443
	最終処分	直接埋立	4,033
		焼却残渣	4,865
		破碎圧縮残渣	2,888
	資源化		12,645
処理合計		75,426	
リサイクル率 (%)		18.4	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		901	

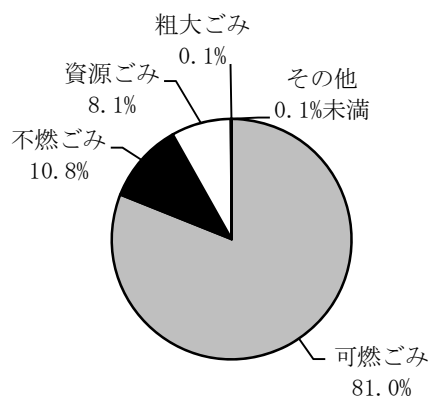


図2-5 ごみの収集内訳

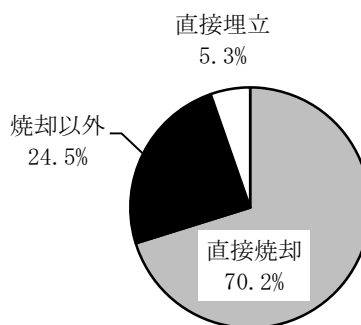


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値
 リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

平成28年度に当地区内から排出されたごみ量は63,890tであり、収集内訳は、可燃ごみ77.1%、不燃ごみ4.8%、資源ごみ17.3%、粗大ごみ0.8%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、47,551t(75.2%)が直接焼却され、15,326t(24.2%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り351t(0.6%)は直接埋立とされている。

当地区全体で14,205tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると14,506tが資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

浜田地区		平成28年度	
計画収集量		54,154	
収集内訳	可燃ごみ	41,749	
	不燃ごみ	2,586	
	資源ごみ	9,385	
	その他	4	
	粗大ごみ	430	
直接搬入量		9,435	
集団回収量		301	
総排出量		63,890	
自家処理量		208	
処理内訳	中間	直接焼却	47,551
		焼却以外	15,326
	最終処分	直接埋立	351
		焼却残渣	2,240
		破碎圧縮残渣	2,328
	資源化		14,205
処理合計		63,228	
リサイクル率 (%)		22.8	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		882	

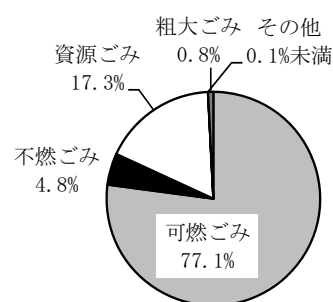


図2-7 ごみの収集内訳

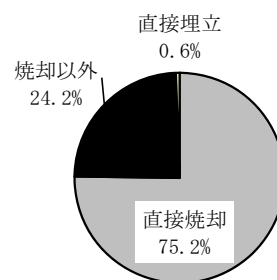


図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

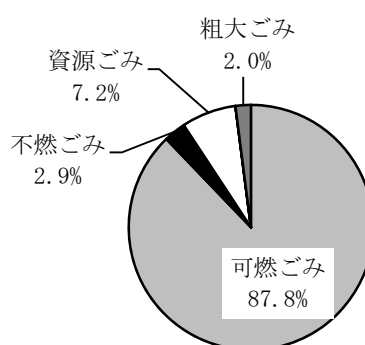
平成 28 年度に当地区内から排出されたごみ量は 10,571t であり、収集内訳は、可燃ごみ 87.8%、不燃ごみ 2.9%、資源ごみ 7.2%、粗大ごみ 2.0% であった。

処理内訳では 8,405t (79.5%) が直接焼却され、1,771t (16.8%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 395t (3.7%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 723t がごみから分別・資源化された。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳 (単位: t)

隠岐地区		平成28年度	
計画収集量		4,025	
収集内訳	可燃ごみ	3,535	
	不燃ごみ	117	
	資源ごみ	291	
	その他	0	
	粗大ごみ	82	
直接搬入量		6,546	
集団回収量		0	
総排出量		10,571	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	8,405
		焼却以外	1,771
	最終処分	直接埋立	395
		焼却残渣	1,333
		破碎圧縮残渣	498
	資源化		723
処理合計		10,571	
リサイクル率 (%)		6.8	
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,407	



※四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図2-9 ごみの収集内訳

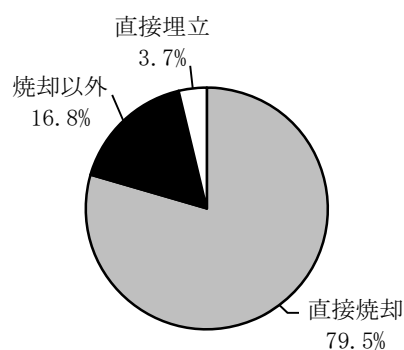


図2-10 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 全県の状況

平成 28 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は 10 施設(処理能力 708.56 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等の施設は 18 施設、粗大ごみ処理施設は 14 施設、保管施設は 15 施設である。

埋立中の最終処分場は 25 施設あり、全体埋立容量は 1,903,454m³、残余容量は 634,677m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 ^{※1}	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	18	202.17	—
粗大ごみ処理施設	14	256.9	—
保管施設	15	18,565 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	25	1,903,454 (m ³)	634,677 (m ³)

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化溶融	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ	全連続		
炉型式					
施設数	1	6	3	1	11
規模 (t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設 (RDF) 及びガス化溶融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は4施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は734,641m³、残余容量は102,516m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	4	96	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	10,614(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	734,641(m ³)	102,516(m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、平成28年度保管量である。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-5、6 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 52 t/日)で平成 19 年 4 月 25 日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 99,304m³、残余容量は 51,029m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	—
最終処分場	3	99,304 (m ³)	51,029 (m ³)

表3-6 焼却施設の状況 (休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	安来市清瀬 クリーンセンター	52	焼却	准連続

※1. ごみ焼却施設は平成 19 年 4 月 25 日より休止中。

<出雲地区>

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-7、8 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 20 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 61,800m³、残余容量は 19,093m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	146 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	61,800 (m ³)	19,093 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表 3-9～11 に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は 2 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 41,300m³、残余容量は 14,805m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	791(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	3	41,300 (m ³)	14,805 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等の施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 522,304m³、残余容量は 257,844m³となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	48	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	3,368(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	4	522,304 (m ³)	257,844 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

※2. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等の施設は 4 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設、保管施設は 4 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 60,076m³、残余容量は 49,969m³となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	4	13	—
粗大ごみ処理施設	2	33	—
保管施設	4	1,285 (t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	2	60,076 (m ³)	49,969 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-16、17 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 12 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 14,300m³、残余容量は 3,663m³となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	1,423 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	3,663 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	邑智クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 115,000m³、残余容量は 71,359m³となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場 ^{※1}	2	115,000 (m ³)	71,359 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域行政組合	エコクリーンセンター	98	ガス化溶融(シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等の施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は149,729m³、残余容量は21,351m³となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	868(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場 ^{※1}	2	149,729 (m ³)	21,351 (m ³)

※1. 埋立終了の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成28年度保管量である。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域市町村圏事務組合	益田地区広域クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

海士町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 12,000m³、残余容量は 4,989m³となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	70 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	4,989 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 28 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町 清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 13,000m³、残余容量は 984m³となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m ³)	984 (m ³)

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町 ごみ焼却場清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	—

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等の施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m³、残余容量は 37,075m³となっている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H29.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場	1	80,000 (m ³)	37,075 (m ³)

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

平成28年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は52,400tであった。その内、紙類が16,440t(31.4%)で最も多く、次に、熔融スラグ8,347t(15.9%)、固形燃料6,341t(12.1%)であった。

また、集団回収により資源化された量は1,792tであり、紙類が1,632t(91.1%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

(単位：t/年)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	16,440	56	570	5,785	3,552	1,045	2,938	875
集団回収	1,632	2	0	113	15	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	522	1,993	8,347	6,341	623	34	3,279	52,400
集団回収	30	0	0	0	0	0	0	1,792

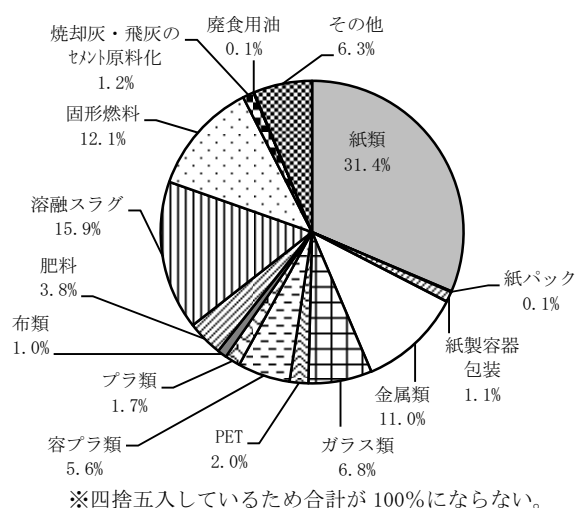


図4-1 市町村による資源化の内訳

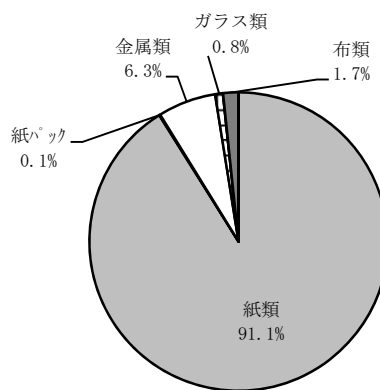


図4-2 集団回収の内訳

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3に示す。

平成28年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は24,827tであった。その内、紙類が7,031t(28.3%)で最も多く、次に、熔融スラグ5,708t(23.0%)、金属類2,307t(9.3%)であった。

松江地区では集団回収が実施されていない。

表4-2 資源化の状況

(単位：t/年)

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	7,031	29	533	2,307	1,533	461	1,205	419

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	349	1,993	5,708	2,257	623	0	379	24,827

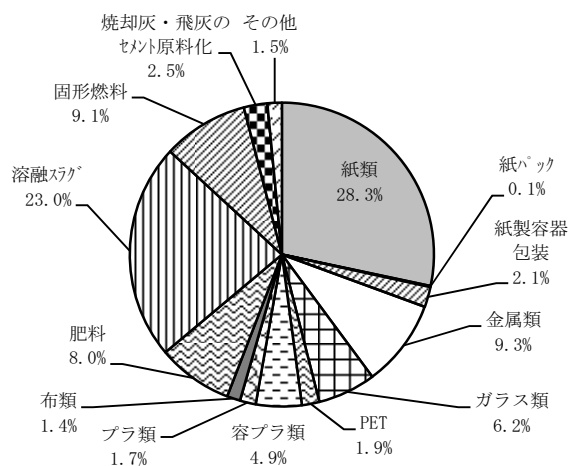


図4-3 市町村による資源化の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-4、集団回収の内訳を図 4-5 に示す。

平成 28 年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 12,645t であった。その内、紙類が 4,076t (32.2%) で最も多く、次に固形燃料 3,605t (28.5%)、その他 2,392t (18.9%) であった。

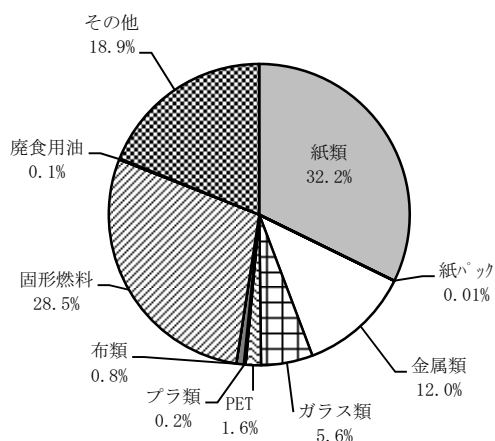
また、集団回収により資源化された量は 1,491t であり、紙類が 1,369t (91.8%) とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

(単位：t/年)

区 分	紙類	紙ﾊﾞｯｸ	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	4,076	1	0	1,519	704	207	0	21
集団回収	1,369	1	0	100	8	0	0	0

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計
市町村	103	0	0	3,605	0	17	2,392	12,645
集団回収	13	0	0	0	0	0	0	1,491



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-4 市町村による資源化の内訳

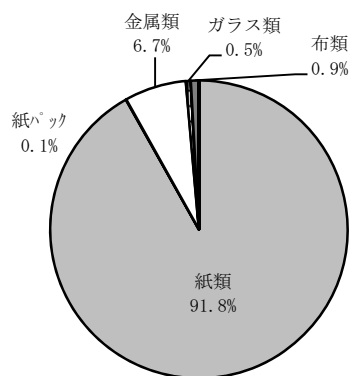


図4-5 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表 4-4、市町村による資源化の内訳を図 4-6、集団回収の内訳を図 4-7 に示す。

平成 28 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 14,205t であった。その内、紙類が 5,031t (35.4%) で最も多く、次に溶融スラグ 2,639t (18.6%)、容器包装プラ 1,733t (12.2%) であった。

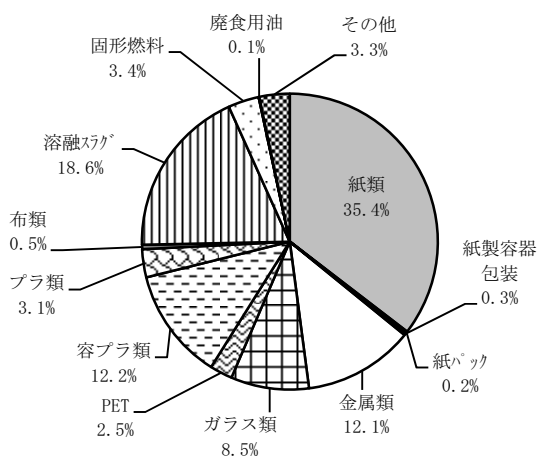
また、集団回収により資源化された量は 301t であり、紙類が 263t (87.4%) とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況

(単位：t/年)

区 分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	5,031	26	37	1,713	1,211	351	1,733	435
集団回収	263	1	0	13	7	0	0	0

区 分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	70	0	2,639	479	0	12	468	14,205
集団回収	17	0	0	0	0	0	0	301



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-6 市町村による資源化の内訳

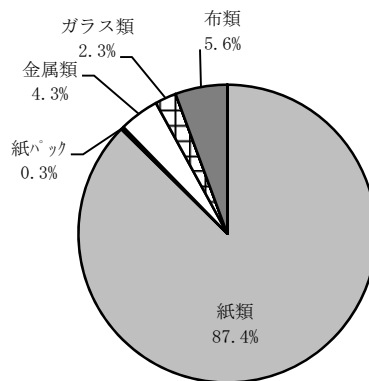


図4-7 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-8 に示す。

平成 28 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 723t であった。その内、紙類が 302t (41.8%) で最も多く、次に金属類が 246t (34.0%)、ガラス類 104t (14.4%) であった。

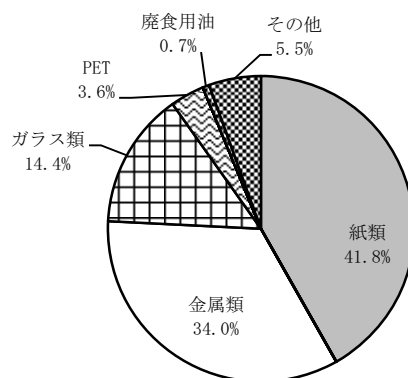
なお、隠岐地区では集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

(単位：t/年)

区 分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	302	0	0	246	104	26	0	0

区 分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計
市町村	0	0	0	0	0	5	40	723



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-8 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成29年度（平成29年12月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が8自治体と最も多く、次に生ごみ堆肥化装置の設置補助が6自治体となっている。予算については、パンフレットの作成、イベント等の開催、不法投棄防止関連事業が多い。

表5-1 平成29年度（平成29年12月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業名	事業の概要	自治体数	当初予算額(千円)
パンフレットの作成	ごみの出し方パンフレット、分別啓発チラシ、ごみ減量化推進等のパンフレット作成	4	8,917
イベント等の開催	環境関係イベントの開催 古着市の開催	4	3,920
廃棄物減量化等協議会開催	一般廃棄物の減量や手数料について、住民、事業者と審議する	3	653
資源ごみ回収団体への助成	住民団体が行う資源回収への助成	5	2,948
生ごみ堆肥化装置の設置補助	生ごみ堆肥化容器、電気式生ごみ処理器への補助	6	1,184
資源回収機器の貸出	選定枝粉砕機の貸出	1	20
ごみ減量・再資源化の啓発	イベントでの啓発	1	12
	小学生を対象としたごみ減量化教室の開催、ごみ減量化指導業務委託	1	3,264
不法投棄防止関連事業	看板設置、パトロール等	8	3,864
合 計		33	24,782

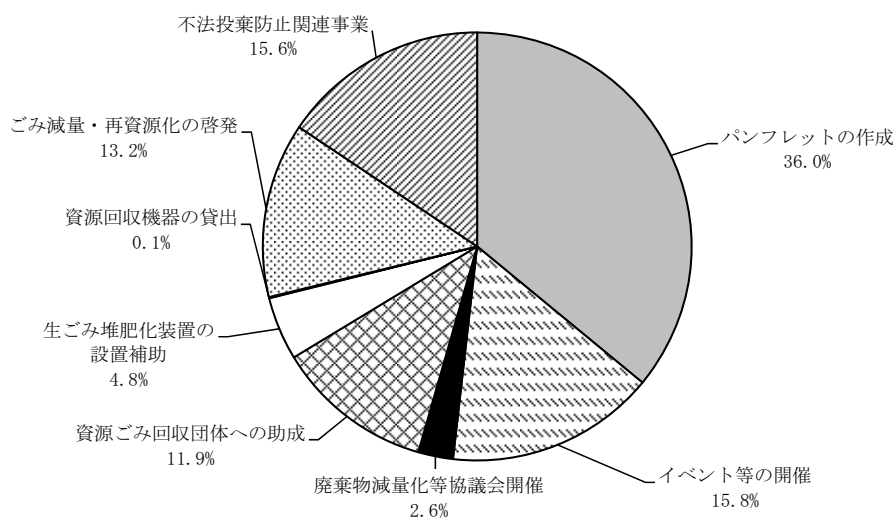


図5-1 平成29年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成29年度(平成29年12月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	10/20/30/41 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	半透明(緑色)シール(粗大)	10/20/50L	21.6/32.4/43.2 円 シール 250 円	中密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青色)シール(粗大)	5/10/20/50L	10.8/21.6/32.4/ 43.2 円 シール 250 円	低密度ポリエチレン
	資源(びん)	橙色	10/20L	10.8/16.2 円	低密度ポリエチレン
	資源(缶)	灰色	20/50L	16.2/21.6 円	
資源(ペット・プラ)	水色	20/50L	16.2/21.6 円		
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/20/40L	15/30/51 円	高密度ポリエチレン
	不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	20/40L	30/51 円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	20/40L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄色)	800×650mm	60 円	高密度ポリエチレン
			700×550mm	40 円	
			600×500mm	30 円	
	不燃	袋に入らない物	シール 2 枚	60 円	高密度ポリエチレン
半透明(緑色)		(大)850×650mm (小)700×550mm	50 円 30 円		
資源(容器包装プラ)	袋に入らない物	シール 1 枚	60 円		
資源(容器包装プラ)	透明(無色)	860×650mm 690×540mm	20 円 15 円	高密度ポリエチレン	
大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45L	25/31/51 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	20/30/45L	25/31/51 円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明	30/45L	16/21 円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	25/36/46 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45L	25/31/36 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45L	25/31/36 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	白	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ポリエチレン
	資源	指定なし			
雲南市 (雲南エネルギーセンター)	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン 0.025mm
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
雲南市 (いいしクリーンセンター)	可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45 L	25/46 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤字)	30/45 L		低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白色)	15/35 L	32.4/64.8 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄色)	25 L	32.4 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2 円	ビ ン : 低密度ポリエチレン その他 : 高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
	粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162 円/1シート5枚	紙

注)1. 材質は市町村の調査結果を記載している。

2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成29年度(平成29年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
美郷町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	32.4/64.8円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	32.4円	高密度ポリエチレン
	資源	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2円	ビン: 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162円/1シート5枚	紙		
邑南町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	32.4/64.8円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄色)	25 L	32.4円	高密度ポリエチレン
	資源	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2円	ビン: 低密度ポリエチレン その他: 高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑)	45 L		
		資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑)	45 L		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162円/1シート5枚	紙		
津和野町	可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン	
	資源(容プラ)	半透明(桃色字)	290×750mm	30/50円	高密度ポリエチレン	
(商品プラ)	半透明(黄字)	460×970mm				
(缶類)	透明(黒字)	(ビン)400×750mm				
(びん類)	透明(青字)					
吉賀町	可燃	可燃	半透明	450×800mm 360×800mm 360×600mm	50円 33.3円 25円	高密度ポリエチレン
		不燃(ビン)	半透明	400×600mm	50円	高密度ポリエチレン
		(カン)	半透明	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン
海士町	資源	資源(容プラ)	半透明(ビン字)	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン
		(商プラ)	半透明(黄字)			
海士町	可燃	チケット		70円	紙	
	不燃	チケット		70円	紙	
	資源	チケット	800×600mm	70円	紙ポリエチレン(酸化鉄配合)	
知夫村	可燃	透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100円	フェロキッド PE	
	不燃	チケット券		200/1000円券		
	資源(ビン)	透明(黄色)	30 L	140円	フェロキッド PE	
	資源(カン)	〃	45 L	140円		
西ノ島町	資源(ペット)	〃	30/45 L	70/140円		
	可燃	チケット		82円	紙	
隠岐の島町	不燃	チケット		82円	紙	
	可燃	チケット(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙玉紙+針金#30(115×65mm)	
	不燃	チケット(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙玉紙+針金#30(115×65mm)	
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)	資源	半透明	550×690mm	無料	高密度ポリエチレン	
	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45円	高密度ポリエチレン 0.025mm	
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43円	低密度ポリエチレン 0.04mm	
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしグリーン センター)	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43円	低密度ポリエチレン 0.04mm	
	可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	43/64円 30/45円	高密度ポリエチレン	
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
鹿足郡不燃物 処理組合	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
	不燃	半透明	45 L	50円	高密度ポリエチレン	

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成29年度(平成29年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	30/45 L	自由設定	炭酸カルシウム入り 高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄)	30/45 L	自由設定	低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	半透明(黄色)	50 L	86.4 円	中密度ポリエチレン
		不燃	半透明(桃色)	50 L	86.4 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(茶色)	50 L	43.2 円	低密度ポリエチレン
出雲市		可燃	白色(赤字)	40 L	123 円	高密度ポリエチレン
		不燃(破碎ごみ)	黄色(赤字)	40 L	123 円	低密度ポリエチレン
		不燃(埋立ごみ)	赤色(赤字)			
益田市		可燃	半透明(青色)	800×650mm	100 円	高密度ポリエチレン
大田市		可燃	半透明(緑)	45 L	103 円	高密度ポリエチレン
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	25/36/46 円 102 円(収集券)	高密度ポリエチレン
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	25/31/36 円 102 円(収集券)	低密度ポリエチレン
江津市		可燃	白	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ポリエチレン
雲南市 (雲南エネルギーセンター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン 0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
雲南市 (いいしクリーンセンター)		可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
		資源(容プラ)	半透明(桃色字)	290×750mm		
		(商品プラ)	半透明(黄字)	460×970mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
		(缶類)	半透明(黒字)	(ビソ)		
海士町		可燃	チケット		70 円	紙
		不燃	チケット		70 円	紙
		資源	チケット	800×600 mm	70 円	紙ポリエチレン(酸化鉄配合)
			半透明(黄)			
西ノ島町		可燃	チケット		82 円	紙
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーンセンター)		可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	43/64 円 30/45 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギーセンター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン 0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ堆肥化装置の設置補助(平成29年度)

市町村名	補助基準	備 考
益田市	補助率 1/2、限度額 5 千円 補助率 1/2、限度額 15 千円	コンポスト 電気式
大田市	補助率 1/2、限度額 3 千円	コンポスト、電気式とも同一 1 世帯当たり 2 基まで
安来市	補助率 1/2、限度額 5 千円 補助率 1/3、限度額 25 千円 (100 円未満の端数は切り捨て)	コンポスト (2 個まで) 電気式 (1 個まで) ※その他補助が受けられる年数要件有り
川本町	補助率 1/2、限度額 3 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	電源なし (1 世帯当たり 2 基) 電源あり (1 世帯当たり 1 基)
津和野町	補助率 1/2、限度額 3.5 千円 補助率 1/3、限度額 20 千円	生ごみ処理容器(1 世帯当たり 2 基) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基)
西ノ島町	補助率 1/2、限度額 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、限度額 10 千円(町外購入)	

6. し尿処理の概要

(1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 28 年度における県内の水洗化人口は、565,718 人(81%)、非水洗化人口は、131,197 人(19%)である。水洗化人口は前年の 0.2%増で、平成 24 年度と比べると 2.4%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
総人口(人)	717,289	712,345	706,612	701,871	696,915
水洗化人口(人)	552,401	561,292	563,564	564,615	565,718
下水道人口(人)	273,102	279,332	281,751	285,869	288,694
コミュニティ・プラント人口(人)	4,465	4,488	4,489	4,415	4,288
浄化槽人口(人)	274,834	277,472	277,324	274,331	272,736
非水洗化人口(人)	164,888	151,053	143,048	137,256	131,197
計画収集人口(人)	160,540	146,963	140,380	134,437	128,878
自家処理人口(人)	4,348	4,090	2,668	2,819	2,319
総処理量(kL/年)	279,315	279,924	284,211	270,749	265,375
し尿計画処理量(kL/年)	102,066	100,268	94,778	92,286	88,583
自家処理量(kL/年)	3,356	3,321	1,622	2,319	1,374
浄化槽汚泥計画処理量(kL/年)	173,893	176,335	187,811	176,144	175,418

注) 総人口に外国人含む。

総人口=水洗化人口+非水洗化人口

水洗化人口=下水道人口+コミュニティ・プラント人口+浄化槽人口

非水洗化人口=計画収集人口+自家処理人口

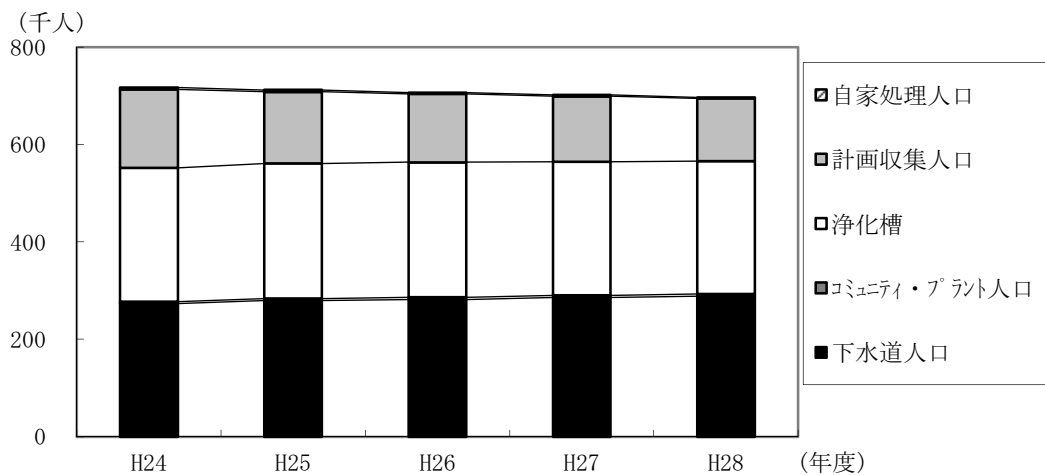
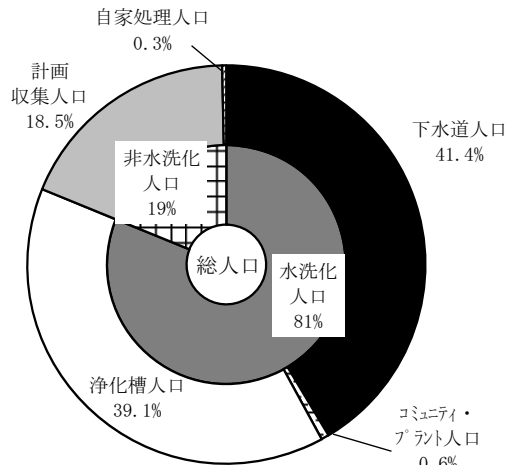


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 (外国人含む) = 水洗面人口 + 非水洗面人口
 水洗面人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口
 非水洗面人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表 6-2、総処理量の内訳を図 6-3 に示す。

平成 28 年度における県内の総処理量は、265,375kL で、前年より約 2.0%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が 66.1%、し尿計画処理量が 33.4%、自家処理量 0.5%となっている。

1 人 1 日当たりし尿計画処理量は 1.88L/人日、1 人 1 日当たり浄化槽汚泥処理量は 1.73L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成28年度
総処理量 (kL/年)		265,375
内訳	し尿計画処理量	88,583
	自家処理量	1,374
	浄化槽汚泥計画処理量	175,418
し尿計画処理量 (kL/年)		88,583
内訳	下水道投入	74
	し尿処理施設	88,485
	農村還元	24
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		175,418
内訳	下水道投入	279
	し尿処理施設	174,977
	農村還元	162
1日1人当たりし尿計画処理量 (L/人日)		1.88
1日1人当たりし尿排出量 (L/人)		1.88
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日)		1.73

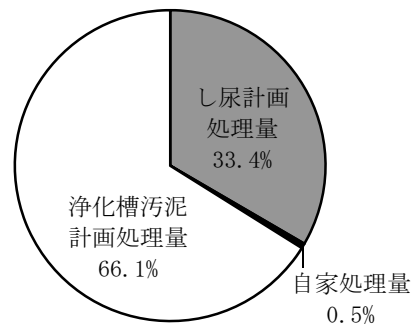


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量
 1 人 1 日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365 日 × 10³
 1 人 1 日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量 (し尿)) / 非水洗面人口 / 365 日 × 10³
 1 人 1 日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365 日 × 10³

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 28 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 843.4kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,368m³/日）である。

浄化槽設置基数は合計 69,509 基で、去年より 458 基増加している。

平成 28 年度の県内の浄化槽設置基数(個人設置型)は 552 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設							コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	膜分離	高負荷膜分離	その他	合計	
施 設 数	1	2	4	1	3	1	12	9
規模(kL/日)	40	117	218	193	204	71.4	843.4	2,368(m ³ /日)

注 1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式
 一次処理……一次処理後に下水道に放流
 標脱…標準脱窒素処理方式(旧低二段)
 膜分離…膜分離処理方式

注 2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m³/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設置基数	68,557	748	111	93	69,509

基数/年

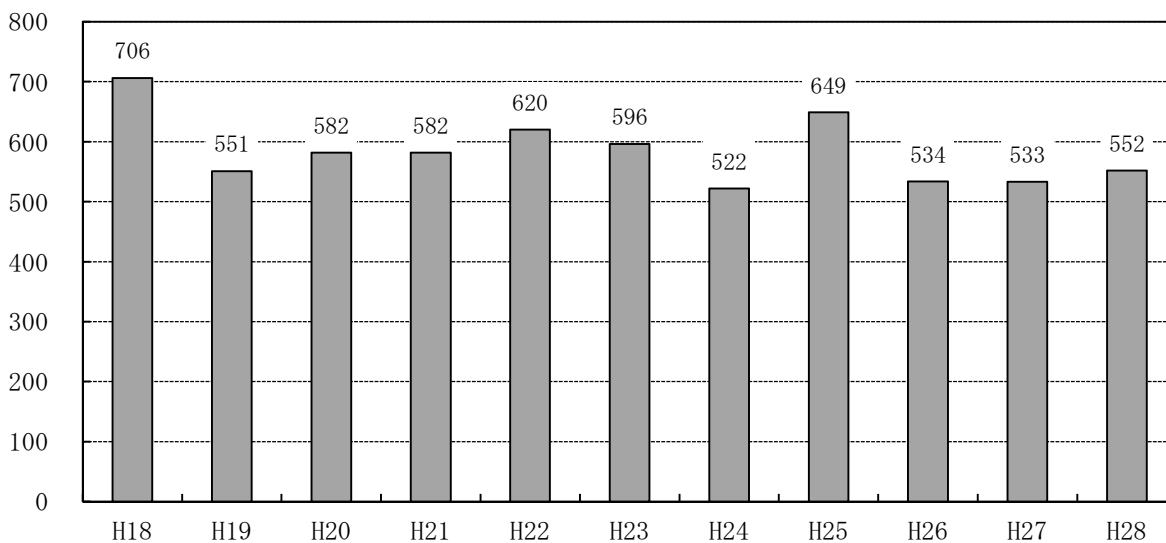


図6-4 浄化槽設置基数(個人設置型)の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 28 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 13,219,520 千円であり、前年より約 5%減少している。経費の内訳はごみ処理が 10,987,890 千円、し尿処理が 2,231,630 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

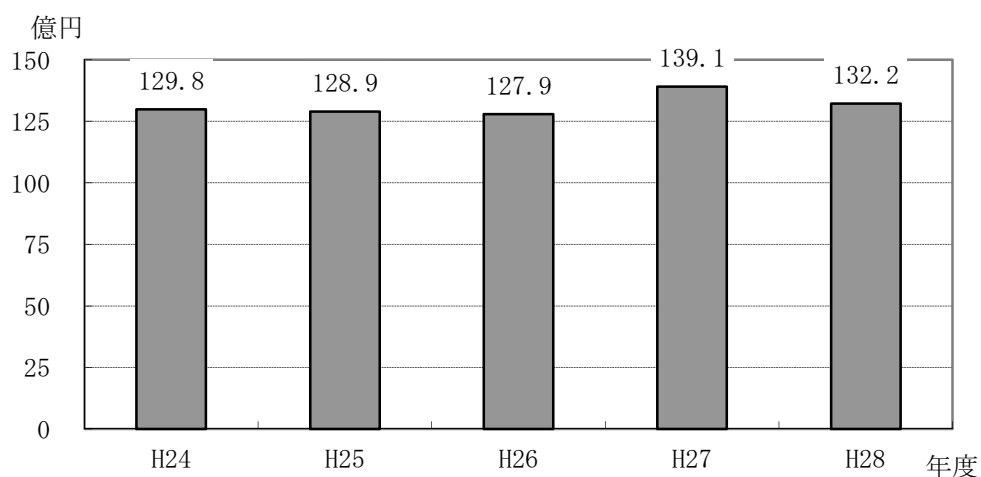


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、浜田地区が 3,821,745 千円 (34.8%) と最も多く、次いで松江地区 3,273,966 千円 (29.8%)、出雲地区 2,850,143 千円 (25.9%)、隠岐地区 1,042,036 千円 (9.5%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)

(平成 28 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	537,500	17,599	877,300	2,104,965	2,153,904	1,038,891	6,411,635	10,987,890
し尿	142,359	0	19,200	233,162	273,474	13,888	1,823,021	2,231,630
計	679,859	17,599	896,500	2,338,127	2,427,378	1,052,779	8,234,656	13,219,520

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)

(平成 28 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	〔組合〕 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				〔組合〕 分担金	調査 研究費			小計
	収集運 搬施設	中間処理 施設	最終処 分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	813,389	97,367	158,093	50,348	20,679	1,119,197	1,419,626	42,365	960,493	263,190	83,004	2,191,042	3,847,054	199,315	330,520	2,133,225	47,213	9,383,822	484,871	10,987,890
し尿	15,930	696,924	0	10,271	0	0	723,125	281,066	47,446	385,231	0	0	59,664	665,335	4,197	24,720	273,474	6,610	1,474,269	34,236	2,231,630
計	15,930	1,510,313	97,367	168,364	50,348	20,679	1,842,322	1,700,692	89,811	1,345,724	263,190	83,004	2,250,706	4,512,389	203,512	355,240	2,406,699	53,823	10,858,091	519,107	13,219,520

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

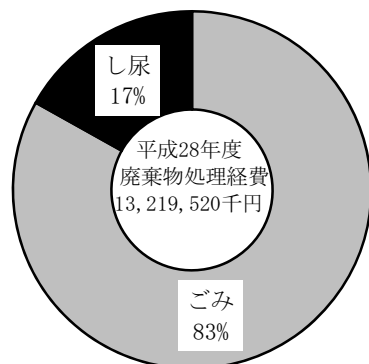


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳 (県全体)

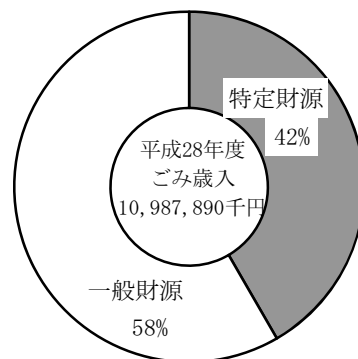


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

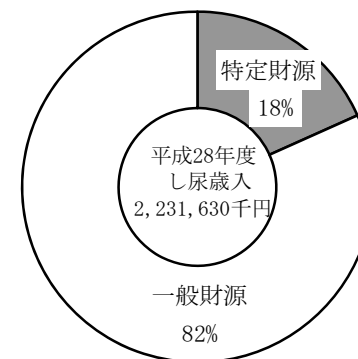


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村)

(平成 28 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	537,500	17,599	877,300	1,879,654	996,830	6,343,408	10,652,291
し尿	142,359	0	19,200	182,398	13,757	1,817,747	2,175,461
計	679,859	17,599	896,500	2,062,052	1,010,587	8,161,155	12,827,752

表 7-4 歳出の内訳(市町村)

(平成 28 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				調査 研究費	小計			
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	752,750	97,367	158,093	46,372	20,679	1,075,261	1,173,709	41,091	681,028	253,215	77,868	2,006,392	2,640,151	189,945	74,278	2,133,225	0	9,270,902	306,128	10,652,291
し尿	15,930	696,924	0	10,271	0	0	723,125	235,958	41,919	245,762	0	0	57,264	569,781	0	24,720	273,474	0	1,448,878	3,458	2,175,461
計	15,930	1,449,674	97,367	168,364	46,372	20,679	1,798,386	1,409,667	83,010	926,790	253,215	77,868	2,063,656	3,209,932	189,945	98,998	2,406,699	0	10,719,780	309,586	12,827,752

表 7-5 歳入の内訳(事務組合)

(平成 28 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	0	0	0	225,311	2,153,904	42,061	68,227	2,489,503
し尿	0	0	0	50,764	273,474	131	5,274	329,643
計	0	0	0	276,075	2,427,378	42,192	73,501	2,819,146

表 7-6 歳出の内訳(事務組合)

(平成 28 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費						処理及び維持管理費											その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他				収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	60,639	0	0	3,976	64,615	245,917	1,274	279,465	9,975	5,136	184,650	1,206,903	9,370	256,242	47,213	2,246,145	178,743	2,489,503
し尿	0	0	0	0	0	0	45,108	5,527	139,469	0	0	2,400	95,554	4,197	0	6,610	298,865	30,778	329,643
計	0	60,639	0	0	3,976	64,615	291,025	6,801	418,934	9,975	5,136	187,050	1,302,457	13,567	256,242	53,823	2,545,010	209,521	2,819,146

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）

（平成 28 年度, 単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	0	0	7,800	759,707	0	384,580	2,121,879	3,273,966
出雲地区	0	17,599	89,800	848,342	552,282	383,341	1,511,061	2,850,143
浜田地区	157,500	0	604,700	401,077	1,601,622	253,925	2,404,543	3,821,745
隠岐地区	380,000	0	175,000	95,839	0	17,045	374,152	1,042,036
合計	537,500	17,599	877,300	2,104,965	2,153,904	1,038,891	6,411,635	10,987,890

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）

（平成 28 年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費												その他	合計
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究費	小計		
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運搬 費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	0	45,648	7,713	0	2,082	0	55,443	468,453	3,642	102,230	65,608	0	844,109	1,561,900	19,625	9,705	0	0	3,075,272	143,251	3,273,966
出雲地区	0	100,856	0	0	48,266	0	149,122	313,992	7,538	566,074	129,924	470	652,902	853,632	16,487	35,376	552,282	0	2,576,395	124,626	2,850,143
浜田地区	0	51,643	79,736	158,093	0	20,679	289,472	467,206	17,832	223,644	61,797	62,996	663,410	1,347,608	157,048	285,439	1,580,943	47,213	3,334,193	198,080	3,821,745
隠岐地区	0	615,242	9,918	0	0	0	625,160	169,975	13,353	68,545	5,861	19,538	30,621	83,914	6,155	0	0	0	397,962	18,914	1,042,036
合計	0	813,389	97,367	158,093	50,348	20,679	1,119,197	1,419,626	42,365	960,493	263,190	83,004	2,191,042	3,847,054	199,315	330,520	2,133,225	47,213	9,383,822	484,871	10,987,890

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

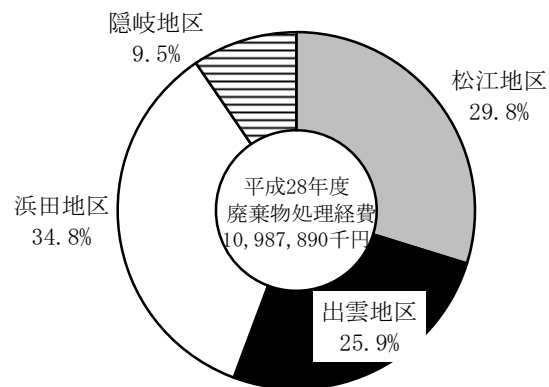


図 7-5 地区別の内訳

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
平成 28 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 261 人である。
内訳は、ごみ処理が 224 人、し尿処理が 37 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事 務 系	107	16	12	4	119	20	139
	技 術 系	25	6	9	3	34	9	43
技能職	収集・運搬	35	0	0	0	35	0	35
	中間処理	18	11	4	0	22	11	33
	最終処分	1	2	0	0	1	2	3
	そ の 他	3	0	5	0	8	0	8
合 計		189	35	30	7	219	42	261

7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。
平成 28 年度末における委託・許可件数は市町村では 383 件、事務組合では 74 件である。

表7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

	区 分	市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	124	19
	許可業(法第7条)	185	49
し尿	委託業(法第6条)	9	0
	許可業(法第7条)	65	6
合 計		383	74

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 28 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	117	43	152

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,821	416	12	2,215

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm ³)				
		H28 年度 調査結果	H27 年度 調査結果	H26 年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	0.0033 0.0055 0.0016	0.00013 0.00023 0.0013	0.00120 0.00200 0.00330	1.0	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	0.23 0.19	0.15 0.25	0.12 0.26	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.00044 0.000054	0.0000033 0.00018	0.000014 0.000016	0.1	
邑智郡総合事務組合 邑智クリーンセンター	BF	0.32 0.32	0.3	0.41	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.000037 0.0034	0.0011 0.000022	0.0000011 0.00000072	1.0	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0.00000070 0.0000011	0.000064 0.0072	0.0000036 0	5.0	
隠岐の島町 島後清掃センター	BF	2.3 2.3	1.4	2.3	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	0.018	1.1	0.038	5.0	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	8.7	0.26	0.87	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.037	0.039	0.045	—	ごみ燃料化 施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	10	6	—	5	

注)集塵方式において、MC=マルチサイクロン、BF=バグフィルター、*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」